

にじのへやだより

令和7年1月発行 (vol.5)

病児保育室にじのへや

蕨市病児・病後児保育事業

新年明けましておめでとうございます。新しい一年が皆様にとって笑顔があふれる年になりますよう、お祈り申し上げます。昨年は多くの方にご登録・ご利用いただき、子どもたちの笑顔にたくさん出会うことが出来ました。何度かご利用いただいているご家庭とは、共にお子さまの成長の喜びを共有することができて嬉しい限りです。

当施設をご利用の際はお子さまのご体調だけでなく、ご家庭でのケアの方法や保育施設の登園基準なども看護師や保育士にお気軽にご相談ください。

今年度も残り3ヶ月、どうぞよろしくお願いいたします。

利用児童の疾患

- 1. 上気道炎 28名
- 2. マイコプラズマ 12名
- 3. 胃腸炎 7名
- 4. 結膜炎 6名
- 5. 手足口病 5名
- 5. RS ウイルス 5名
- 7. りんご病 3名
- 7. 気管支炎 3名
- 9. 咽頭炎 1名
- 10. 感冒 1名

Happy New Year
2025



利用内訳(年齢別)

11月 利用者数 43名・登録者数 2名

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	学童
1	11	9	13	4	0	0	5

12月 利用者数 28名・登録者数 3名

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	学童
0	12	3	6	0	1	0	6

11月は寒暖差が激しく、様々な感染症が流行していたため、多くのお子さまがご利用していました。

食事は無理をせず、食べやすいものを少しずつ摂取して様子を見ました。にじのへやでは、お子さまの症状に合わせ一人ひとりのペースでゆったりと過ごすことができます。

まだまだ寒い日が続く、インフルエンザやマイコプラズマ、新型コロナウイルスの3つに限らず、胃腸炎や伝染性紅斑(りんご病)も流行してきています。

重複感染も増えると予測されますので、手洗いうがいや消毒、室温湿度の調整をして、感染予防に努めながら快適に過ごせるようにしていきます。

保育の様子



体調に合わせて午前睡をしたり、午睡を長めにとったりしています。



サンタさんの長靴にシールをペタペタとたくさん貼り、お菓子や小さいおもちゃも入るとってもかわいいサンタさんの長靴バッグが出来ました🍡



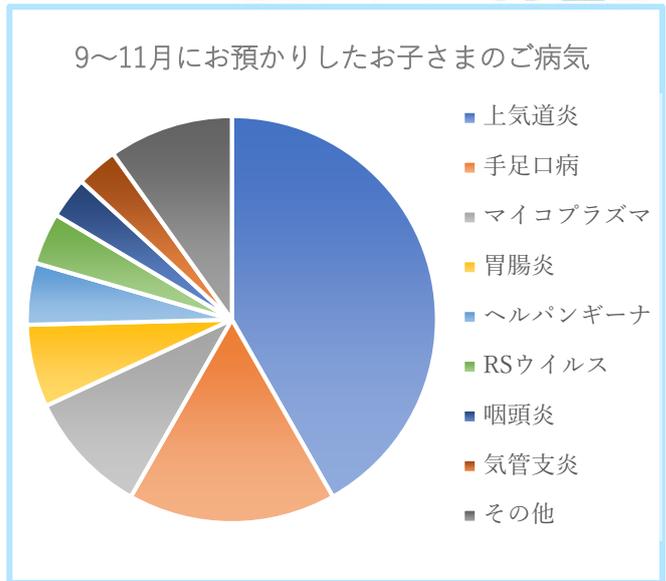


様々な感染症が流行しています

例年、秋は夏・冬に比べ体調を崩すお子さまが少なく、病児保育室はすいているのですが、今年は混みあっていることが多かったです。また、お預かりしたお子さまの病気は、昨年の同時期は 4 種類でしたが、今秋は 16 種類と多岐にわたりました。

その理由の一つには、「秋が短かった」ことがあると考えられます。例えば、手足口病は夏の暑い時期に流行する病気で、溶連菌やインフルエンザは寒く乾燥すると流行し始めます。しかし、今年は暑い時期が長引いて秋が短かったため、夏の感染症の流行がまだ続いており、そこにさらに冬の感染症が流行し始めている、つまり「同時流行」の状態になり、病気の種類が多くなっていると考えられます。

このように、複数の感染症が流行している状態だと、1 つの感染症にかかり、体力が弱っているところに別の感染症にかかるという、いわば「ドミノ倒し」のように感染が続くことが起こります。たとえば、インフルエンザ等に感染したあと、その病み上がりで今度は溶連菌に感染する、ということが続いてしまいます。



感染症を予防するには

このように、この冬は感染症により注意する必要がありますが、その予防法は以下の通りです。

【予防接種】

現在流行中・今後流行が予想される感染症の中で、インフルエンザは予防接種がありますので、まだの方は予防接種を受けましょう。

【うがい・手洗い】

外出後や食事の前、トイレの後は必ず石けん(ハンドソープ)を用いた手洗いとうがいをしましょう。

【マスク着用】

混んでいる場所に行く時は、マスクをつけましょう。(2歳未満はマスクを着用しないようにしましょう。)

※2歳以上であっても、お子さまがマスク着用中息苦しくないか等、保護者がしっかり確認しましょう。

【加湿】

冬場は空気が乾燥し、何も対策をしていないと屋内の湿度は容易に 40%以下になってしまいます。

乾燥しているとウイルスが活性化し、感染しやすくなるので、湿度は 50～60%程度に保ちましょう。

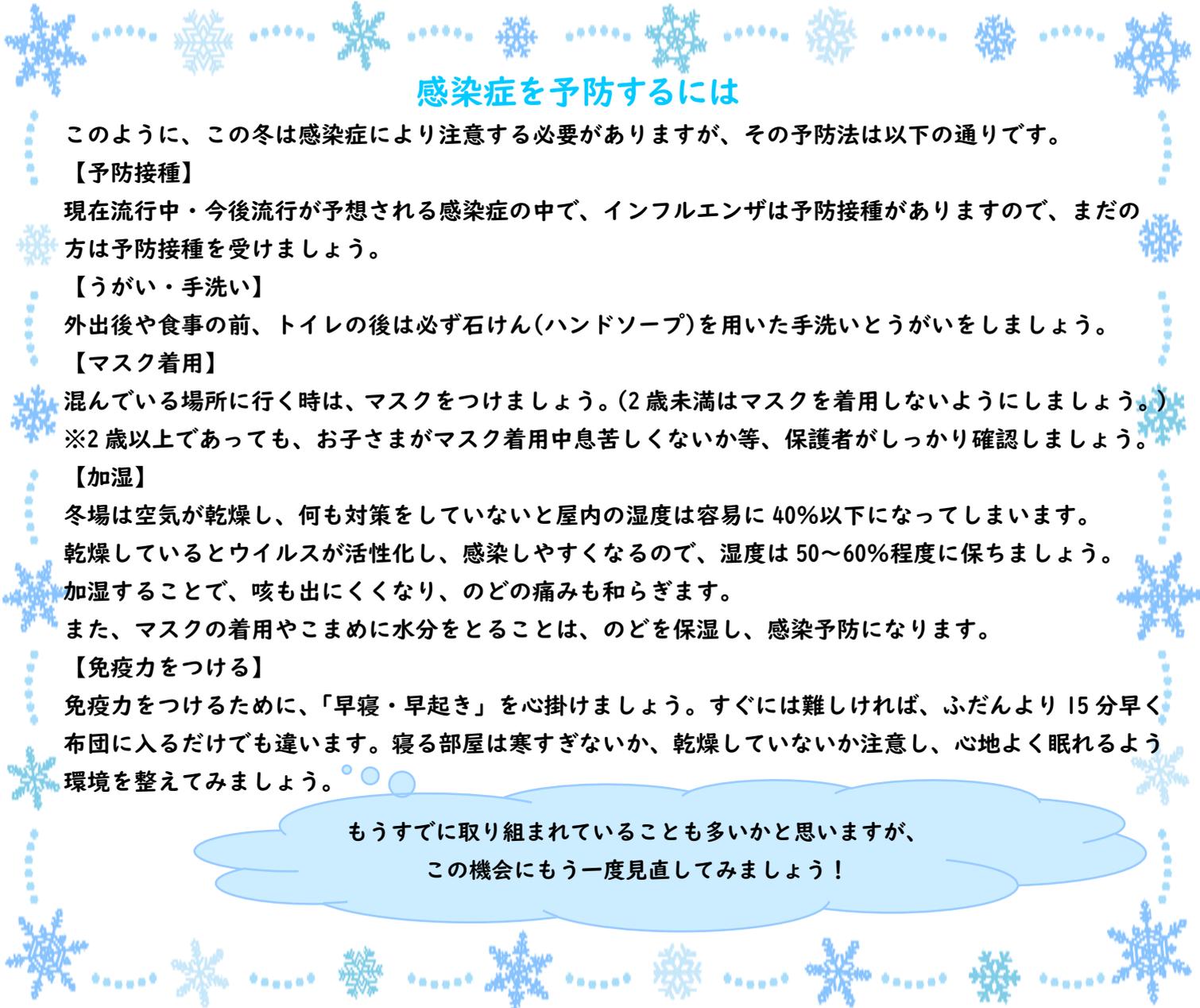
加湿することで、咳も出にくくなり、のどの痛みも和らぎます。

また、マスクの着用やこまめに水分をとることは、のどを保湿し、感染予防になります。

【免疫力をつける】

免疫力をつけるために、「早寝・早起き」を心掛けましょう。すぐには難しければ、ふだんより 15 分早く布団に入るだけでも違います。寝る部屋は寒すぎないか、乾燥していないか注意し、心地よく眠れるよう環境を整えてみましょう。

もうすでに取り組まれていることも多いかと思いますが、
この機会にもう一度見直してみましょう！



病児保育室にじのへやってどんなところ？

病児保育とは、お子さまが体調を崩し、保育施設や幼稚園、小学校に登園・登校ができない時にご利用いただける施設です。

にじのへやは、「お子さまが熱を出したが、お仕事の都合でお休みできない」、「保護者の方の冠婚葬祭等の都合により、家庭で体調不良のお子さまを看ることができない」等の時にもご利用いただけます。

また、普段保育園に通われていないお子さまや、保護者ご自身も体調を崩し、お子さまの看病が難しい・お休みしたい時もご利用いただけます。



病児保育って利用するのも不安・抵抗…
子どもが可哀想では…？



にじのへやは、保護者の方とお子さまに安心していただけるよう、こまめに検温をしたり、病状や様子を詳細にお伝えしています。また、最初は人・場所見知りをすることがありますが、様々な玩具等があるため、保育園と同様に、すぐに落ち着いて遊び始めたり、笑顔をみせて過ごしています。「また来たい!」、「今日にはじのへやに行く?」等、登室を楽しみにするお子さまもいらっしゃいます。



子どもが登園時の検温で熱があり、保育園に預けられなかった…
当日でも利用はできる…？



もちろん当日利用も可能です。ただし、利用人数や病名、保育室の兼ね合いで利用が難しい場合もございます。一度施設にお問い合わせいただき、利用が可能でしたらあずかるこちゃんでご予約をお願い致します。その後受診、医師に利用連絡書の記入をもらい、あずかるこちゃんに利用連絡書のアップロードをしていただければ大丈夫です。

※アップロード手順はこちらを
ご参照ください。



通ってる保育園・幼稚園・学校が感染症の流行により、学級閉鎖…
子どもの体調は悪くないが利用はできる…？



病児保育室ですので、お預かりできるのは体調の悪いお子さまのみとなります。ただ、少しでも咳や鼻水等の症状があり、医師に利用連絡書の記入をして頂いた場合は利用可能です。また、病後児保育も行っておりますので、症状が軽快状態のお子さまや退院後のお子さまもご利用いただけます。



預かれない病気はあるか…？
利用時の注意事項は…？
どんな人が看ているの…？



お預かり出来ない病名や利用上の注意事項等は、蕨市のホームページやあずかるこちゃんのホーム画面でご確認いただけます。職員は保育士2名、看護師1名になります。ホームケアや家庭療養、利用について等の疑問やご相談にも丁寧にご返答、アドバイスさせていただきますのでお気軽にお問い合わせください。

～利用者の方々からのお声～

- ・いつも丁寧に見てもらい、子どもも楽しめている。大変信頼しており、何度も利用している。
- ・仕事が休めない時、とても助かる。スタッフも親切で安心して預けられる。ないと困る。
- ・仕事を休むのが難しいというときに安心して預けられ、仕事に集中できる。
- ・子どもの体調が悪い時でも預かってもらえる施設は貴重。
- ・長期休暇前でどうしても仕事が休めず、大変助かった。
- ・お願いしないと勤務できないため、大変助かっている。



…etc 嬉しいお言葉をたくさんいただいております!!

～ご予約・お問い合わせ～

病児保育室にじのへや

〒335-0004 蕨市中央 3-19-8 富双ビル 1階

TEL:048-280-6180



詳しくはこちらをご覧ください!